



カーボンフットプリント(CFP)

CFP宣言

登録番号：JR-BE-23008C-A

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8

KANDA SQUARE GATE

<https://ecoleaf-label.jp>

株式会社J-オイルミルズ
J-OIL MILLS, Inc..

AJINOMOTO さらさら®キャノーラ油
18L缶/8kgBIB/4kgピロー×3個入り/大型ローリー運搬
(業務用食用なたね油)
AJINOMOTO Sarasara Canola Oil



算定単位

油脂1,000kgあたり

算定対象段階

■最終財 □中間財

原材料調達段階、生産段階

流通段階、廃棄・リサイクル段階

製品の型式、主要仕様・諸元

製品種別：食用なたね油

製品容量・型式 (JANコード)

●AJINOMOTO さらさら®キャノーラ油

16.5kg缶：JAN 4902590103818

8kgバックインボックス (BIB)：JAN 4902590103801

4kgピロー×3個入り：JAN 4902590105348

大型ローリー運搬分：JAN 4902590871618

<https://www.j-oil.com/prosumer/oil/canola.htm>

登録番号 JR-BE-23008C-A

適用PCR番号 PA-265300-BE-04

PCR名 食用植物油脂【第4版】

公開日 2023年8月29日

検証合格日 2023年8月21日

検証方式 個品別検証方式

検証番号 JV-BE-23008

検証有効期間 2028年8月20日

PCRレビューの実施

認定日等 2023年01月 06日

委員長 神崎 昌之

一般社団法人サステナブル経営推進機構

第三者検証者*

外部検証員 淵上 智子

ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証

内部 外部

*システム認証を受けた事業体内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

問い合わせ先

株式会社J-オイルミルズ

〒101-0044 東京都中央区明石町8-1

聖路加タワー

03-5148-7100

登録番号：JR-BE-23008C-A



①CFP算定結果

算定単位 油脂1,000kgあたり

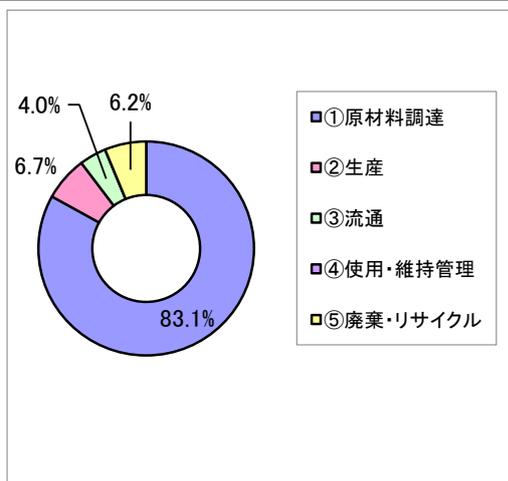
項目		数値	単位
CFP算定結果		4200	kg-CO ₂ eq
内訳	①原材料調達	3500	kg-CO ₂ eq
	②生産	280	kg-CO ₂ eq
	③流通	170	kg-CO ₂ eq
	④使用・維持管理	-	kg-CO ₂ eq
	⑤廃棄・リサイクル	260	kg-CO ₂ eq
数値表示		4200	kg-CO ₂ eq
表示単位：		油脂1,000kgあたり	

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

③その他の環境関連情報

Blank area for additional environmental information.

②算定結果に関する追加情報



- 食用植物油脂PCRに基づき使用・維持管理段階は算定対象外とした
- 食材調理時の油の加熱にかかる環境負荷は含まれていない
- 植物油脂原料農産物（菜種）は基本的に輸入品を使用しているが、本算定においては原料農産物（菜種）の製造負荷については国内における平均的データを使用している
- 農地土壌における炭素貯留プロセスについては評価対象外とした
- 算定は荷姿ごとの製品を生産量により加重平均した

④CFP算定結果の解釈

○原材料調達段階における温室効果ガス排出量が約83%と最も多くなりました。その内の主な排出源は、原料である菜種の調達であることがわかりました。国内の植物油脂工場で使用される植物油脂原料農産物の96%は輸入原料※であることや製品の安定供給等を踏まえると、原料調達段階（栽培に伴う環境負荷等）の削減はもとより、長持ちする製品を開発することで製品使用量自体を削減することが温室効果ガス排出量の削減に有効であると言えます。

○生産段階における温室効果ガス排出量が約7%となり、原材料調達段階の次に多くなりました。主な排出源は、搾油や精製時に利用する蒸気や電気などのエネルギー使用であることがわかりました。

○廃棄・リサイクル段階における温室効果ガス排出量が約6%となりましたが、廃油処理についてはPCR11-4のシナリオに従い投入した全量を産業廃棄物として焼却処理することとして算定しています。実際には廃油回収事業者等により回収され、資源として再利用されることも少なくありません。

○CFP算定にあたり、エネルギー使用量等については当社データを利用していますが、菜種栽培時に投入される肥料の量などの原料生産データを収集することは困難であり、原料及び副資材製造時のデータは一般的な値を利用しています。そのため、当製品固有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご理解ください。

※油糧生産実績調査（平成31年（令和元年）確報版、2019年原油生産量より）

⑤使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3及び食用植物油脂PCRに記載されている二次データを使用した。

⑥備考

2026年3月19日変更：問い合わせ先の修正

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL : <https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)
- 製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行ってい

登録番号： JR-BE-23008C-A